

平針北小学校 3年・4年生 コミュニケーション講習案

コミュニケーションハウス 坂倉 裕子

タイトル	コミュニケーションはキャッチボール	
日時	H14.9.18(水) 3年生 10:50～11:35 4年生 11:45～12:30	
人数	各70名	
会場	机なし・ホワイトボード（黒板）・マーカー・マグネット(セロテープ)数個	
ねらい	1.気持ちが伝わりやすい率直な自己表現ーアイ・メッセージ（ふわふわボール）と、評価的表現ユー・メッセージ（トゲトゲボール）の違いを感じとる。 2.率直なコミュニケーションの基礎となるセルフエスティーム（自己肯定感）を自覚する。	
時間（分）	内容	使用するもの
5	自分だけの道 タンパリンの音に合わせて、教室の中を歩く。ひとと同じ道を歩かないように工夫する。タンパリンの音とまったら、近くにいるひととペアになる。（2～3回くりかえす）	タンパリン（借）
5	私が好きなのは… 最後にペアになった2人組で行う。「わたし・ぼくが好きなのは～です」と、1分間に、できるだけたくさん言ってみる。相手はその数を数えて、終わったら教える。交代して行う。	ストップウォッチ
5	ふりかえり 好きなものが多く言えたひとと少しだけ言えたひとと、どちらもいい。やってみて、どんな事を感じたか、発言を促す。ひとりひとり違ったいろいろな人がいることに気づく。自分のように感じられるのは自分一人。ひとり一人が大切な人。私も大切・あなたも大切にして友だちとつきあうと気持ちがいい	
15	コミュニケーションはキャッチボール コミュニケーションとは、「伝えあう」こと（伝えるだけじゃたりない） 物事を伝える・気持ちを伝えるーキャッチボールの実演 気持ちを伝える時に、受け取りやすいふわふわボールと、受け取りにくいトゲトゲボールがある 私とあなたのどちらも大切にしているか。 ジョージとのスキット ふわふわボールとトゲトゲボールの言葉にわけてみる 自分の体験から、トゲトゲボール、ふわふわボールの言葉を思い出す ふわふわボールの効果とトゲトゲボールの違いと効果を説明する	あさるのジョージボール ふわふわボールとトゲトゲボールの絵 （言葉のカード）
5	ロールプレイ 2人組になって、掃除当番の役と、話し込んでいる子の役の両方を体験して、感想を話し合う。	
10	ふりかえり・感想を書く グループで話し合ったことを全体で分かち合う。 自分も、とげとげを投げたときがある。とげとげを投げる人は、本当はふわふわの気持ちを持っている。それに自分で気づいていないだけ。とげとげを投げて、投げられても、あなたはだめじゃない。失敗することがあっても、次にきをつければいい。あなたが大切な人にはかわりはない。自分も、相手も大切にすることが、気持ちよい友だち関係をつくっていく。	

講習案添付資料

おさるのジョージのぬいぐるみを使ったスキット

夏休みのある日。友だちのジョージと私は、クラスの花壇の水やり当番でした。暑くならないうちに水をやらなければならないので、学校の花壇の前で、8時半に待ち合わせをしました。

その日の朝。私は、8時15分に花壇の前につきました。

9:00からプールに行く約束をしていたので、早く初めて早く終わろうと思い、ジョージがくるのを待っていましたが、8時30分になっても

ジョージは来ません。「日を間違えたのかな」「場所が違ったのかな」

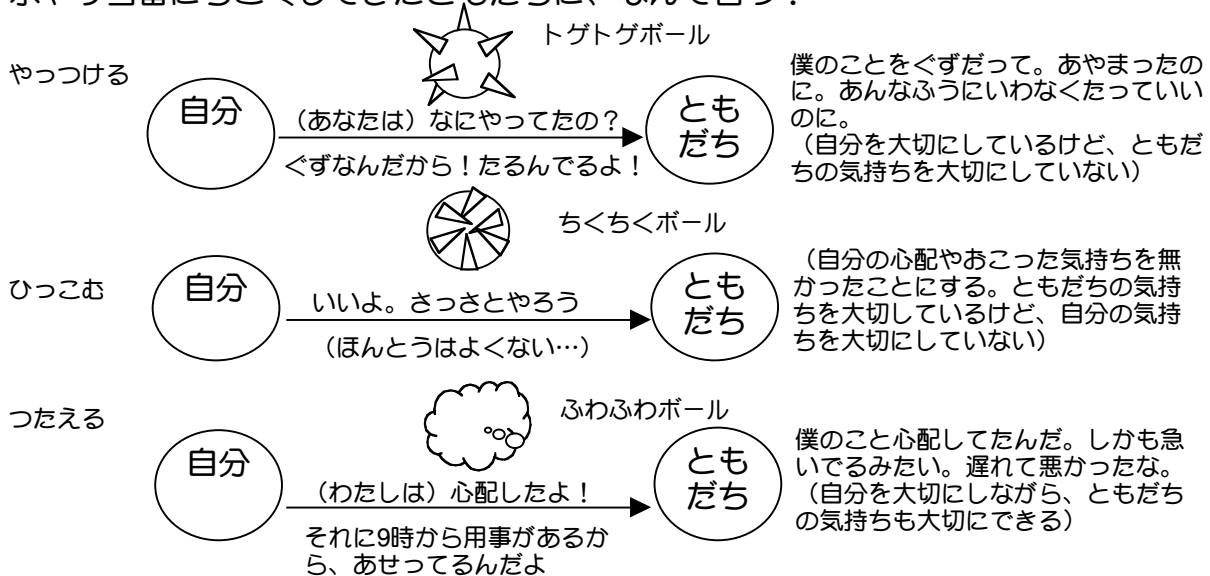
「もしかして、くる途中に自動車にひかれちゃったのかな」と心配していたら、「ごめんごめん」とジョージがやってきました。

あなたなら、なんて言う？

- | | |
|-------|---|
| やっつける | 1 「もう！なにやってたの？！ぐずなんだから！たるんでる証拠だよ！」 |
| ひっこむ | 2 「（ぶんぶんしているのをかくして）いいよ、さっさとやろう」 |
| つたえる | 3 「よかった。でも、すごく心配したんだよ！
それにわたし、9時から用事があるから、あせってるんだよ。」 |

コミュニケーションはキャッチボール

水やり当番にちこくしてきたともだちに、なんて言う？



そうじの時間

あなたはそうじ当番です。教室をほうきではいていると、当番でない子たちが、教室のすみで話に熱中しています。そこをほうきではきたいのですが、なかなか気がついてくれません。
なんと声をかけますか？声をかけられて、どう感じましたか？

- 1 そこ！そうじのじゃま！どいてどいて！
- 2 (気がついてどいてくれるように、その子たちのまわりを何度もはく。)
- 3 ここをはくよ～。どいてくれると、うれしいんだけど。

相手が変わってくれたら「ありがとう」「(わたしは)うれしい」と言ってみよう。

言ってみて、言われてみて、どんな感じがしましたか？

コミュニケーションに、正解はありません。
そのとき、自分が言ってみて、言われてみて、どんな感じがしましたか。
気持ちがよければ、それで正解。気持ちがよくなかった時には、トゲトゲ・ちくちくボールだったかな？ふわふわボールならなんて言えたかな？と、考えてみましょう。

あなたも、トゲトゲボールを投げたくなるときがあるでしょう。トゲトゲボールを投げる人も、本当はふわふわの気持ちを持っています。すぐに出てこないだけ。
トゲトゲボールを投げても、投げられても、あなたはだめじゃない。
まちがえることがあっても、次に気をつければいい。
あなたが大切な人だということにはかわりはありません。
自分も、相手も大切にすることが、気持ちよいコミュニケーションのはじまりです。